

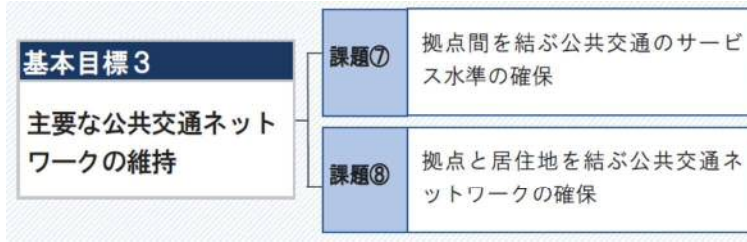
# 津市地域公共交通の現状と課題

新たな記載内容の観点(現計画との比較)

- 津市総合計画(2018年度~2027年度)の策定  
⇒「まちづくり」から「暮らしづくり」へ
- 津市立地適正化計画(2018年3月)の策定  
⇒「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の考え方  
⇒公共交通の基本目標:「主要な公共交通ネットワークの維持」(上図参照)
- JR名松線の復旧(2016年3月) ⇒JR名松線の積極的活用
- 社会情勢の変化や技術革新 ⇒新しいモビリティサービス、外国人観光客の増加等

## 問題点

- 【アンケート】食料品購入や通院の移動において、効率の良い移動手段が無いケースあり  
⇒「津地域西部→久居地域東部」「美里地域→久居地域東部・西部」「一志地域→松阪市」等
- 【アンケート】バスの運行本数・運行時間帯・停留所施設、鉄道とバスの乗り継ぎに関する満足度が低い
- 【アンケート】市政の他項目と比較して公共交通の満足度が低い
- 【データ】津市全体で今後人口減少と予測  
⇒特に美杉地域は高齢者も減少(右図参照)
- 【データ】高齢者の単独世帯の増加
- 【データ】利用者が少ない路線  
⇒三行線(単独区間)、安濃線(立合系統)、多気線(単独区間)、榊原線(末端区間)、名張奥津線(末端区間)
- 【データ】実態に合わないサービス水準  
⇒美里地域、美杉地域のコミュニティバスの利用者1人あたりの運行経費が高い(右表参照)
- 【データ】高齢化に起因する交通事故増加
- 【その他】運行の重複  
⇒事業者路線とコミュニティバスの重複(久居地域、河芸地域、美里地域)  
⇒乗合バスとJR名松線の重複(廃止代替バス多気線、美杉コミュニティバス)
- 【その他】日常生活に合っていないダイヤ  
⇒帰りの交通手段が無いケースあり
- 【その他】運転手不足 ⇒減便につながる
- 【その他】公共交通に関するPR不足 ⇒JR名松線のパークアンドライド、観光情報等



コミュニティバス 運行地域	運行 両数	運行日	運行日あたり 利用者数(人)		年間 利用者数(人)	年間 運行経費 (千円)	利用者 1人あたり 運行経費 (円/人)		
			平日全便 昼間便	平日全便 夜間便					
民間補充型 久居地域	1	4ルート週2日 1ルート週1日	54.1		4,339	6,729	1,551		
福祉目的型 河芸地域	2	2ルート週3日	31.9		4,819	6,163	1,279		
福祉目的型 芸濃地域	2	4ルート週4日	41.9		8,175	11,374	1,391		
福祉目的型 安濃地域	1	3ルート週2日	31.6		3,162	7,070	2,236		
生活基盤型 美里地域	2	2ルート週5日	23.4		5,967	25,446	4,264		
福祉目的型 一志地域	1.2	2ルート週3日	48.4		7,079	13,325	1,882		
生活基盤型 白山地域	2	3ルート毎日	54.3	121.9	13,249	29,743	44,133	39,854	903
生活基盤型 美杉地域	3	2ルート毎日 1ルート週5日	-	60.8	-	14,847	18,796	51,140	2,721

※一志地域は、平日5日中1日が2両運行

## 課題の総括

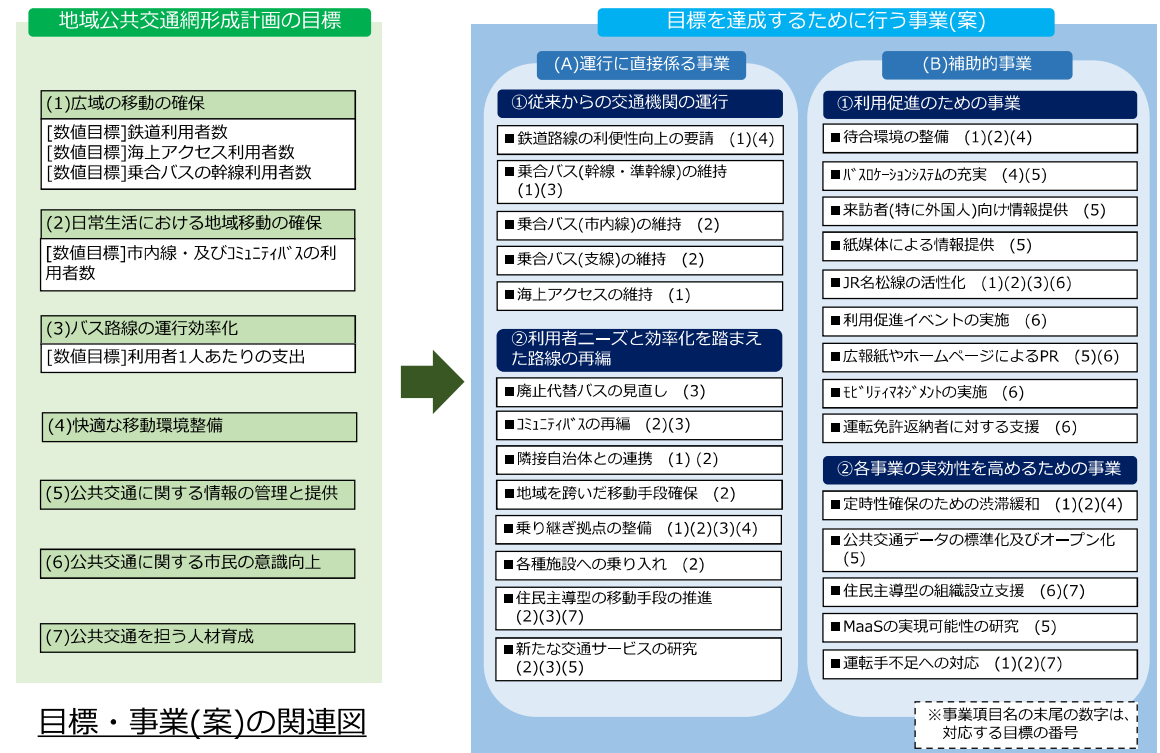
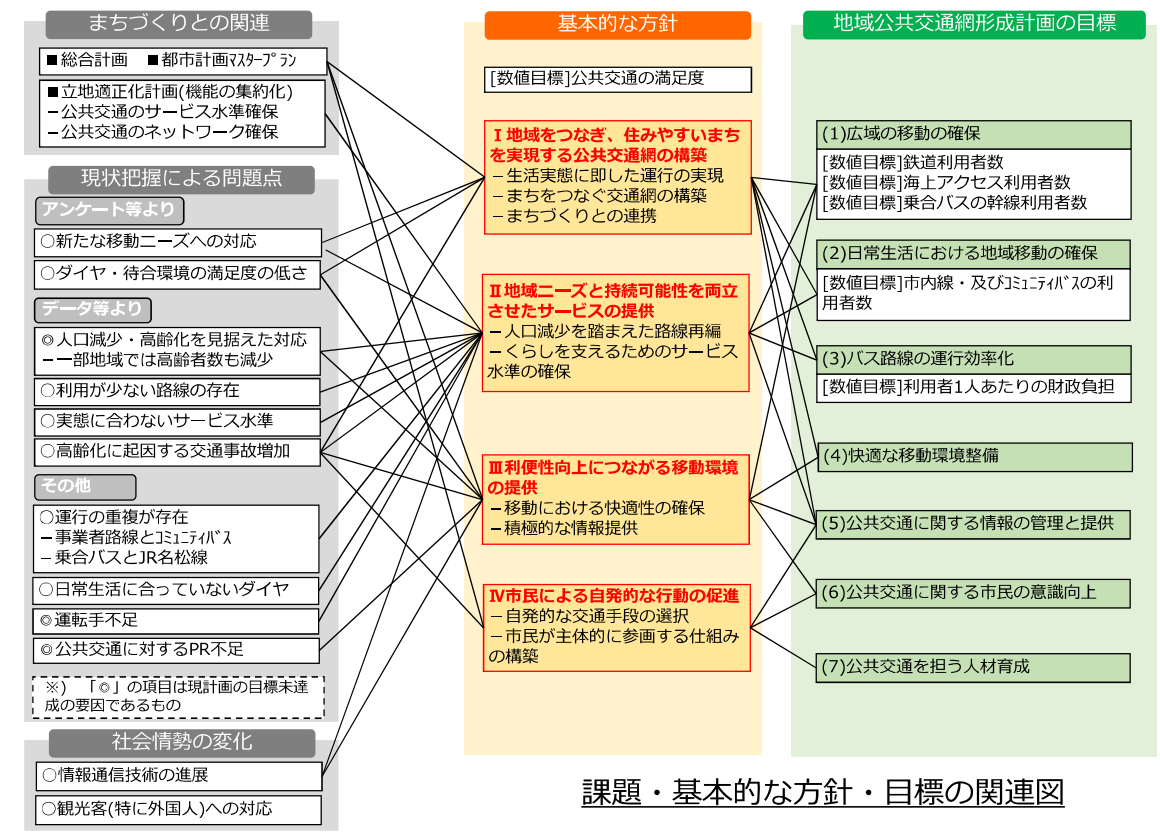
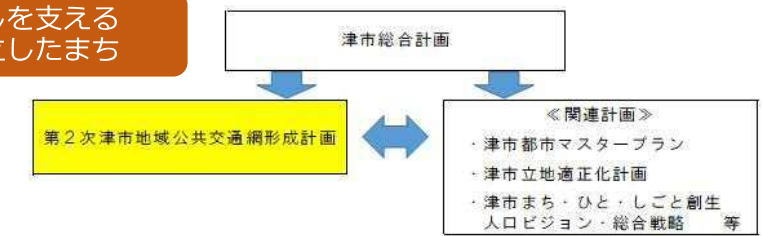
- 課題Ⅰ 整合性の確保
  - 上位計画・関連計画との整合
  - 鉄道・バス(事業者路線、コミュニティバス)・航路の相互連携
- 課題Ⅱ 利便性と効率性の両立
  - 満足度の低いサービス、実態に合っていないサービス、サービスの重複、運転手不足への対応
- 課題Ⅲ 社会情勢に応じた移動環境整備
  - 高齢化を視野に入れた移動環境の整備
  - 情報通信技術進展への対応
- 課題Ⅳ 行政や交通事業者以外の役割
  - 市民が主体となった公共交通

# 第2次津市地域公共交通網形成計画の概略

## 概要

将来像: 快適で幸せな暮らしを支える公共交通体系が確立したまち

- 【計画の位置づけ】 上位・関連計画との関連は右図のとおり
- 【計画の区域】 津市全域
- 【計画期間】 2020年度~2024年度(5年間)



# 津市地域公共交通における課題の整理

2015年(現計画策定時)と比較した取り巻く環境の違い

- 【津市に係ること】**
- ① JR名松線完全復旧(2016年)
  - ② 立地適正化計画策定(2018年)
- 【社会全体】**
- ③ バス運転手不足の深刻化
  - ④ 外国人観光客の増加
  - ⑤ MaaS等のICTによる新たな概念

## 第1次津市地域公共交通網形成計画の実施結果

**【目標の達成状況】**

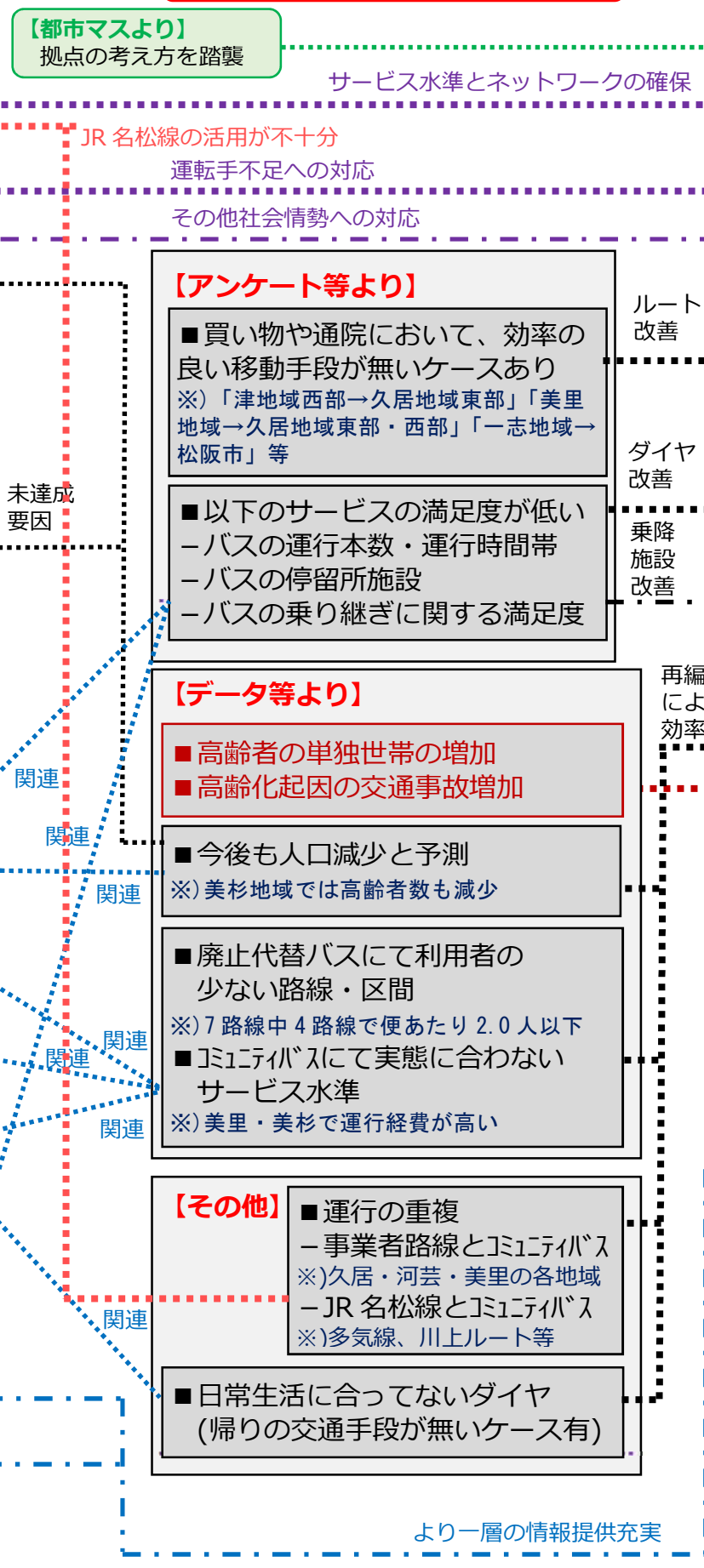
■ 目標を達成したのは全11項目中4項目

※) 未達成要因：人口減少、運転手不足による減便等

## 【施策の点検結果による問題点・課題】

- 待合環境の整備
- 人口特性の把握
- 補助要件に合致する路線見直し
- 移動実態に即した路線見直し
- 住民運営主体型の利用が少ない
- 高額な運行経費
- 生活に合っていないダイヤ
- 各種施策のPR不足
  - JR名松線のP&R・インクル等
  - 観光施設への案内等
  - わかりにくい広報
- 紙媒体による情報提供

## 津市地域公共交通の問題点



## 課題の総括

**【課題Ⅰ】**  
まちづくりや関係機関の整合性確保

- 「津市総合計画」、「津市都市マスタープラン」、「津市立地適正化計画」等の上位計画・関連計画との整合を図る必要あり。
- 津市には鉄道・バス(事業者路線バス、コミュニティバス等)・航路等、様々な交通機関が存在しており、相互に連携を図る必要あり。

**【課題Ⅱ】**  
利便性と効率性の両立

- アンケート等では、移動ニーズに対応しきれていないことや特定サービスの満足度の低さが明確に。
- データ等では、人口減少傾向にあることや、サービスの内容が実態に合っていないことが明確に。
- その他、運行サービスの重複、運転手不足等諸問題あり。

**【課題Ⅲ】**  
社会情勢に応じた移動環境整備

- 津市では高齢者が進展し、また高齢者に起因する交通事故件数の割合も増加傾向。
- 情報通信技術の進展により新たな移動サービスも研究。

**【課題Ⅳ】**  
行政や交通事業者以外の役割

- 人口減少化において、行政や交通事業者だけで事業を行うことには限界あり。
- 市民が自発的に公共交通政策に関与する。

## 基本的な方針

**【基本方針Ⅰ】**  
地域をつなぎ、住みやすいまちづくりを実現する公共交通網の構築

- まちづくりに係る計画との整合を図りつつ、各地域の特長を活かした盛んな交流を図るために、安全・安心で、子供から高齢者まですべての世代が快適で健康的に「移動する」環境を提供する。
- 津市(周辺自治体含む)において、鉄道・バス・航路等が一体的となった公共交通網を構築する。

**【基本方針Ⅱ】**  
地域ニーズと持続可能性を両立させたサービスの提供

- 地域の移動ニーズに十分応えつつ、津市の公共交通網を持続可能なものとするため、人口減少を踏まえた路線再編による効率的な運行を実現し、暮らしを支えるためのサービス水準を確保する。

**【基本方針Ⅲ】**  
利用促進につながる移動環境の提供

- 鉄道・バス・船舶等の運行だけでなく、車両や乗降場所の快適性を確保する(特に高齢化率の上昇による、高齢者が快適に移動するための環境づくり)。
- ダイヤ、ルート、駅・バス停の情報のほか、割引制度やイベント等の情報も積極的に提供する。

**【基本方針Ⅳ】**  
市民による自発的な行動の促進

- 行政や交通事業者だけでなく、市民自らが主役となり、社会的にも望ましい交通手段の選択を促進するための施策を実施する。
- 市民自らが公共交通の事業に関わるための仕組みを構築する。

**【都市マスより】**  
市民も都市づくりに積極参加



第2次津市地域公共交通網形成計画策定・コミュニティバス路線再編スケジュール

令和元年度												備 考
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<p>【第2次地域公共交通網形成計画策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回協議会・第1回分科会(5/14) <ul style="list-style-type: none"> <li>・(現行)網形成計画の評価</li> </ul> </li> <li>●第2回協議会(7/17) <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定スケジュール及び構成案説明</li> <li>・現況整理1(廃止代替バスの利用実態)説明</li> </ul> </li> <li>●第2回分科会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(現行)網形成計画の評価(確定)</li> </ul> </li> <li>●第3回協議会(8/20) <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況整理2(津市公共交通網の考え方、津市コミュニティバスの利用実態等)説明</li> </ul> </li> <li>●第4回協議会(10/7) <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題整理(現計画評価、利用実態、アンケート、事業者ヒアリング等)</li> <li>・将来像、基本方針の確認</li> </ul> </li> <li>●第5回協議会(10/15) <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像、基本方針の設定</li> <li>・目標、事業、評価手法等の確認</li> </ul> </li> <li>●第6回協議会(12月下旬) <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案の作成</li> </ul> </li> <li>●第7回協議会(2月頃) <ul style="list-style-type: none"> <li>第2次網形成計画の策定</li> </ul> </li> </ul> <p>◎市議会全員協議会</p> <p>◎パブリックコメント</p>												
<p>【コミュニティバス路線再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第2回協議会(7/17) <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動ニーズの報告、路線再編の考え方</li> <li>ルート再編事例の提示</li> </ul> </li> <li>●第3回協議会(8/20) <ul style="list-style-type: none"> <li>・全地域ルート案の提示</li> <li>→関係機関(事業者等)との調整</li> </ul> </li> <li>●第4回協議会(10/7) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート案の意見整理</li> </ul> </li> <li>●第5回協議会(10/15) <ul style="list-style-type: none"> <li>・全地域ルート案の整理</li> </ul> </li> <li>●第6回協議会(12月下旬) <ul style="list-style-type: none"> <li>運行計画案の確認</li> </ul> </li> <li>●第7回協議会(2月頃) <ul style="list-style-type: none"> <li>運行計画案の確認</li> </ul> </li> </ul>												<p>【令和2年度以降の予定】</p> <p>4月 新ルート案運輸支局申請</p> <p>6月 市条例改正・補正予算</p> <p>7月 新ルート啓発 (広報紙、チラシ、HP等)</p> <p>10月 新ルートスタート</p>